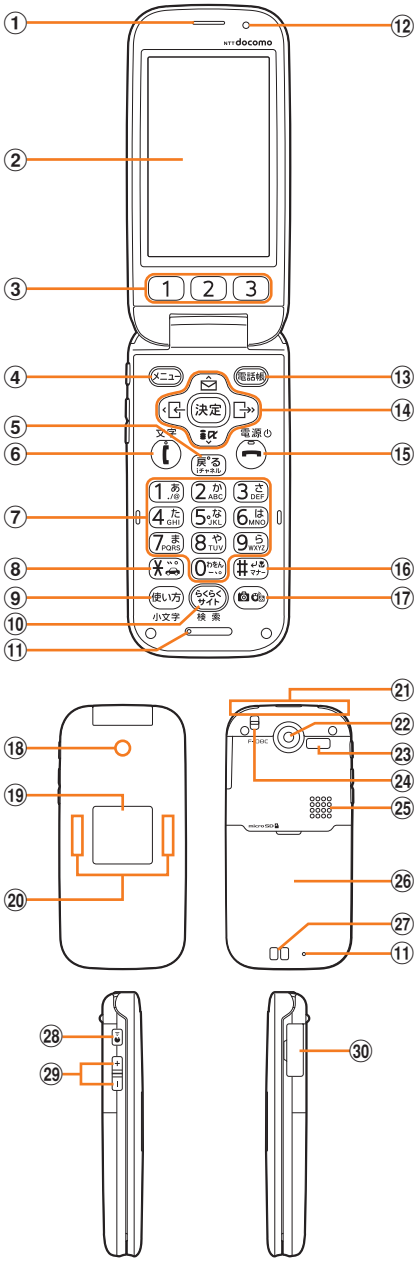
ご使用前の確認

各部の名称と機能 20
ディスプレイの見かた 22
背面ディスプレイの見かた 27
メニュー操作のしかた 30
通知画面の閉じかたを選ぶ 34
画面の縦横表示を自動で切り替える ..... ＜オートローテーション設定＞ 35
使いかたを電話で確認する 35
使いかたガイドを使う 36
ドコモUIMカードを使う 38
電池パックの取り付けかた／取り外しかた 41
充電する 42
電池残量の確認のしかた ..... ＜電池残量＞ 46
電源を入れる／切る ..... ＜電源ON／OFF＞ 47
現在の通信状態を表示する ..... ＜通信状態表示＞ 50
日付・時刻を合わせる ..... ＜日付時刻設定＞ 50
相手に自分の電話番号を通知する ..... ＜発信者番号通知＞ 52
自分の電話番号を確認する ..... ＜個人情報表示＞ 53

各部の名称と機能

ここでは、F-08Cの各部の名称と、ボタンに割り当てられている主な操作の説明をします。

・操作の説明では、各ボタンをここで説明したイラストで表しています。



① 受話口

相手の声がここから聞こえます。

② ディスプレイ→p.22

③ 1 2 3 ワンタッチダイヤルボタン

ワンタッチダイヤルを登録します。
1秒以上押すと登録した相手に電話をかけられます。

④ メニューボタン

メニューの表示、ガイド行の左側に表示される操作の実行に使います。
1秒以上押すとボイスメニューが使用できます。

⑤ 戻る／ｉチャネルボタン

文字の消去、1つ前の画面に戻る、ｉチャネル一覧の表示に使用します。
1秒以上押すと新着情報の表示を消去できます。

⑥ 電話開始／文字ボタン

電話をかける／受ける、スピーカーホン機能での通話切り替え、文字入力のモードや文字種の一覧を表示するときに使います。
1秒以上押すと留守番電話の伝言メッセージが再生できます。

⑦ 1 ～ 9 0 ダイヤルボタン

電話番号や文字の入力、メニュー項目の選択に使います。
5 を1秒以上押すとエコモードの設定／解除ができます。
待受画面や電話番号の入力画面で 0 を1秒以上押すと、国際電話をかけるときの「+」が入力されます。

⑧ ＊／公共モード（ドライブモード）ボタン

「＊」や濁点、半濁点などの入力に使います。
1秒以上押すと公共モード（ドライブモード）の設定／解除ができます。

⑨ 使い方／小文字ボタン

使いかたを確認するためのメニュー表示、文字入力時の大文字／小文字の切り替えに使います。
1秒以上押すとらくらくホンセンターに電話をかけられます。

⑩ らくらくサイトボタン

ｉモードに接続して、らくらくｉメニューを表示します。→p.216
1秒以上押すとらくらく検索を起動できます。

⑪ マイク

通話や音声メモ録音時などに自分の声をここから送ります。集音器として利用中は周囲の音を拾います。

※ マイクをふさぐと、相手にお客様の声が聞こえにくくなったり、正常に録音・集音できなくなったりする場合があります。
※ 背面のマイクは騒音カット用のため、お客様の声は拾いません。

⑫ 光センサー
画面の明るさを自動調整するときに使います。
※ 光センサーをふさぐと、照明設定の自動調整が正しく行えない場合があります。

⑬ 電話帳 電話帳ボタン
電話帳の表示、ガイド行の右側に表示される操作の実行、スピーカーホン機能での通話切り替えに使います。
1秒以上押すと電話帳の音声検索ができます。

⑭ マルチカーソルボタン（十字ボタン）
決定 決定ボタン
選択した操作の実行、便利ツールメニューの表示に使います。お知らせ情報があるときは、お知らせの内容を表示します。ｉチャネル天気更新の情報があるときは、ｉチャネル一覧を表示します。
メール／上ボタン
メールメニュー画面の表示、カーソルの上方向への移動、音量の調節（大）、新着メール受信後のメール一覧の表示に使います。
1秒以上押すとメール作成画面が表示されます。
ｉモード／ｉアプリ／下ボタン
ｉモードメニューの表示、カーソルの下方向への移動、音量の調節（小）、メッセージR/F受信後のメッセージ一覧の表示に使います。
1秒以上押すとｉアプリ一覧が表示されます。
着信履歴／左ボタン
着信履歴の表示、カーソルの左方向への移動、画面の切り替え、音量の調節（小）に使います。
リダイヤル／右ボタン
リダイヤルの表示、カーソルの右方向への移動、画面の切り替え、音量の調節（大）に使います。

⑮ 終了／電源ボタン
通話や操作中の機能の終了、応答保留、シークレットモードの解除に使います。
2秒以上押すと電源のON／OFFができます。

⑯ ＃／改行／マナーモードボタン
「＃」の入力や改行、写真やビデオの撮影時の接写切り替えに使います。
1秒以上押すとマナーモードの設定／解除ができます。

⑰ カメラ／音声入力ボタン
写真撮影画面の起動、メール作成時の音声入力に使います。
1秒以上押すとカメラメニューが表示されます。

⑱ 充電ランプ
充電中、写真・ビデオ撮影中、音声録音中、集音中などに点灯／点滅します。

⑲ 背面ディスプレイ→p.27

⑳ ランプ
電話の着信時、メールの受信時、カメラやボイスレコーダー起動中などに点灯／点滅します。

㉑ FOMAアンテナ
※ アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

㉒ カメラ
写真やビデオの撮影、バーコードリーダーとして使います。

㉓ 赤外線ポート
赤外線でデータを送受信するときに使います。

㉔ ストラップ取付口

㉕ スピーカー
着信音やスピーカーホン機能使用中の相手の声、音声読み上げの音声などがここから聞こえます。

㉖ リアカバー
※ リアカバーを外して電池パックを取り外すと、ドコモUIMカードスロットとmicroSDカードスロットがあります。→p.38、p.317

㉗ 充電端子

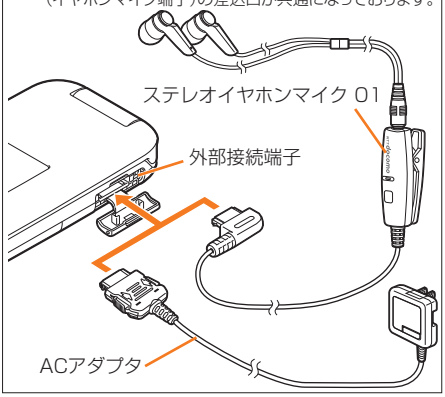
㉘ 音声読み上げボタン
背面ディスプレイの照明の点灯や表示の切り替え、ゆっくりボイスの設定、音声読み上げ、目覚まし音・予定の通知の音声の停止に使います。

㉙ ＋／－音量ボタン
背面ディスプレイの照明の点灯、各種音量や撮影時の明るさの調節などに使います。

㉚ 外部接続端子
充電時およびイヤホン接続時などに使用する統合端子です。→p.44、p.357
※ 別売のACアダプタ、DCアダプタ、FOMA充電機能付 USB接続ケーブル、ステレオイヤホンマイク 01などを接続できます。

〈イヤホンのご利用について〉
別売の外部接続端子対応のイヤホンを接続してください。
なお、外部接続端子に非対応のイヤホンをご利用になる場合には、別売の変換アダプタを接続してご利用ください。

外部接続端子用
ステレオイヤホンマイク 01（別売）接続例
※ ACアダプタ（充電）およびステレオイヤホンマイク 01（イヤホンマイク端子）の差込口が共通になっております。



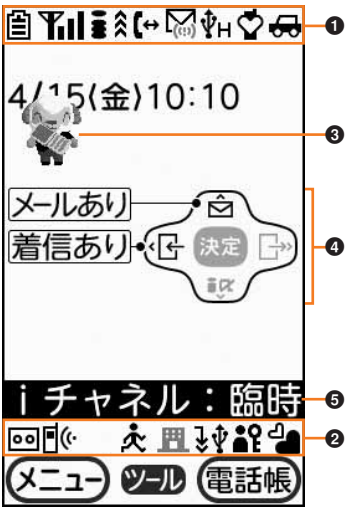
ディスプレイの見かた

ディスプレイに表示されるマークや、お知らせ情報・新着情報などで、現在の状態を知ることができます。

表示されるマークや情報

ディスプレイに表示されるマークや情報などで、現在の状態（ステータス）やお知らせ・新着情報などを確認できます。

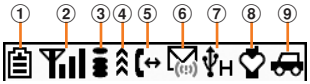
❶マーク（上部）→p.22
❷マーク（下部）→p.24
❸マチキャラ→p.114
❹お知らせ情報・新着情報→p.25
❺ｉチャネルのテロップ→p.244



「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

■ マーク（上部）

待受画面表示中や操作中にディスプレイの上部に表示されるマークは次のとおりです。



①：電池残量の表示→p.46
②／圏外：受信レベルの表示→p.47
SELF：セルフモード中→p.124
TML：使用できないドコモUIMカードを挿入→p.38
：データ転送モード中※1／ドコモケータイdatalinkの使用中→p.316、p.331、p.388
③※2：ｉモード中、接続中→p.216
：SSLページ表示中→p.217
／：パソコンと接続してパケット通信中／データ送受信中→p.386
：オートスピーカーホン機能の設定中→p.68

※2 ④: 赤外線通信中→p.331
: シークレットモード中→p.124
⑤: 電話中→p.58
: 電話切断中
: 64Kデータ通信中→p.386
: 音声読み上げ可能／音声読み上げ中→p.143
※2 ⑥: 未読エリアメール→p.193
: 未読ｉモードメール、SMSが満杯で、ドコモUIMカードにSMSが満杯→p.171、p.199
(赤)：未読ｉモードメール、SMSが満杯→p.171、p.199
(赤)：ドコモUIMカードにSMSが満杯→p.199
(黒)：未読ｉモードメール、SMSあり→p.171、p.199
／: ｉアプリ／ｉアプリDX動作中→p.272
／(すべて黒)：ｉアプリ／ｉアプリDX待受画面からｉアプリ起動中→p.280
／(すべてグレー)：ｉアプリ／ｉアプリDX待受画面表示中→p.279
※3（黒）／※3（赤）：未読メッセージRあり／満杯→p.189、p.190
※3（黒）／※3（赤）：未読メッセージFあり／満杯→p.189、p.190
※3：ｉコンシェルの新着インフォメーションあり→p.246
※4 ⑦: USBハンズフリー対応機器で通信中→p.66
通信中：ｉモード中→p.216
取得中：ｉモーションデータ取得中→p.240
通信中: つながりセンターと通信中→p.361
漢字かな／**半角カナ**／**英字**／**数字**／**全角かな**／**全角カナ**：入力モードの表示→p.365
※4 ⑧: マナーモード中→p.109
: 電話のバイブレータと電話着信音量の消音を同時に設定中→p.104、p.106
: 電話のバイブレータを設定中→p.106
: 電話着信音量を消音に設定中→p.104
: ｉモードメール、SMSの受信中→p.171、p.199
※4 ⑨: 公共モード（ドライブモード）中→p.73
(黒)：ドコモUIMカードを読み込み中→p.47
: メッセージRの受信中→p.188
: メッセージFの受信中→p.188
※1 データ転送モード中は圏外と同じ状態になります。
※2 現在優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。
※3 未読ｉモードメールがある場合は小さく表示されます。
※4 待受画面以外では時刻が表示されます。

■ マーク（下部）

待受画面表示中にディスプレイの下部に表示されるマークは次のとおりです。

① (黒)：伝言メモの設定中→p.75
: 未確認の伝言メモあり→p.75
(赤)：伝言メモが満杯→p.75

※1
② : 未確認の不在着信情報あり→p.60
: ダイヤル発信制限中→p.126

③ ／ : 歩数計・活動量計の使用設定中／歩数計・活動量計の使用と自動送信メールを設定中→p.339、p.342

※1
④ (赤)：iモードセンターにiモードメールとメッセージR/Fが満杯、またはいずれかが満杯で未受信あり→p.172、p.189
／／ (すべて赤)：iモードセンターにiモードメールまたはメッセージR/F満杯→p.172、p.189
(黒)：iモードセンターに未受信のiモードメールとメッセージR/Fあり→p.172、p.189
／／ (すべて黒)：iモードセンターに未受信のiモードメールまたはメッセージR/Fあり→p.172、p.189
: 未読トルカあり→p.287
: エコモード中→p.115

⑤ : ソフトウェア更新の予約中→p.440
: microSDモード中（USB接続中でmicroSDカードあり）→p.329
: microSDモード中（USB接続中でmicroSDカードなし）→p.329
: microSDモード中（USB接続なしでmicroSDカードあり）→p.329
: microSDモード中（USB接続なしでmicroSDカードなし）→p.329
※2：microSDカードあり→p.317

⑥ ※3：FOMA USB接続ケーブルでパソコンなどと接続中→p.386

※1
⑦ : 個人情報表示制限中→p.125
: 目覚まし設定中→p.346
: 予定の通知を設定中→p.348
: 目覚ましや予定の通知を設定中

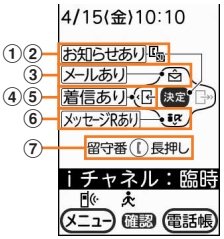
⑧ (黒) ／ (グレー)：つながりほっとサポート契約中／利用記録停止中→p.361

※1 現在優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。
※2 マーク（下部）の⑥のアイコンが表示されているときは表示されません。
※3 マーク（下部）の⑤のmicroSDモード中のアイコンが表示されているときは表示されません。

お知らせ情報・新着情報の表示

電話帳の自動更新の失敗や電話帳保存のお知らせ、パターンデータの自動更新の通知、ｉチャネルの天気情報の更新などがあると、待受画面でお知らせ情報として表示します。また、メールやメッセージR/Fの受信や不在着信の記録、伝言メモの録音、留守番電話サービスセンターに伝言メッセージの録音があると、待受画面で新着情報としてお知らせします。〈見たままガイド〉

ｉコンシェルのインフォメーションを受信したときは、ポップアップメッセージでお知らせします。



①[お知らせあり]：決定を押すと表示されているアイコンにより次の通知が表示されます。

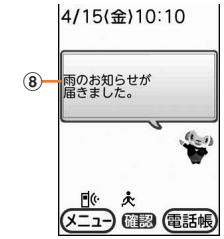
- 書き換え予告マーク→p.436
- 更新お知らせマーク→p.438
- ／：パターンデータの自動更新の通知→p.444
- ：ケータイデータお預かりサービスの更新失敗→p.132
- ：ｉアプリ自動起動失敗→p.279
- ：圏内自動送信失敗メールあり→p.157
- ：電話帳保存のお知らせ→p.99
- ：待受画像配信元設定による画像自動保存失敗→p.111

②[iチャネル・天気更新あり]：決定を押すとｉチャネル一覧が表示されます。→p.243

③[メールあり]：を押すと受信メールのフォルダー一覧が表示されます。→p.174

④[着信あり]：を押すと着信履歴画面が表示されます。→p.59

⑤[伝言あり]：を押して着信履歴画面が表示されてから決定を押すと、伝言メモを再生できます。→p.75



「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

⑥[メッセージRあり]／[メッセージFあり]：を押すとメッセージRまたはメッセージFの一覧が表示されます。→p.190

⑦留守番 長押し：を1秒以上押すと留守番メッセージを再生するかどうかの確認画面が表示されます。→p.378

⑧ｉコンシェルのインフォメーションのポップアップメッセージ：決定を押すとインフォメーション一覧やリンク先のサイトが表示されます。→p.246

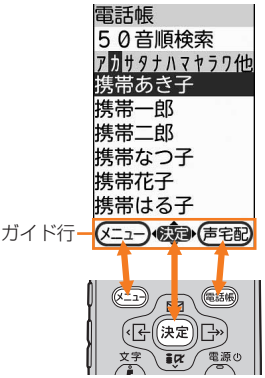
- 戻る/チャネルを1秒以上押すと新着情報の表示を消します。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに新着情報が表示されます。

ガイド行の表示

ガイド行には、メニュー、決定、電話帳を押して実行できる操作が表示されます（表示される操作は画面により異なります）。表示位置とボタンは、図のように対応しています。

本書では、ガイド行に表示される操作の説明を、対応するボタン（メニュー、決定、電話帳）を使って説明しています。

- ガイド行の◆は、マルチカーソルボタン（十字ボタン）の ✉ iモード 🔒 に対応しています。
- ガイド行の右側に「ガイド」と表示されているときに電話帳を押すと、機能の詳細を説明するガイド画面が表示されます。ガイド画面を終了するには、電話帳または戻る（チャネル）を押します。



お知らせ

- iアプリの画面では、ガイド行に決定 ✉ iモード 🔒 に対応する操作が表示されていなくても、これらのボタンを利用できる場合があります。

背面ディスプレイの見かた

FOMA端末を閉じていても、設定されている機能やさまざまな情報を背面ディスプレイで確認できます。

背面に表示されるマーク

背面ディスプレイでは次のマークを表示して状態をお知らせします。

① 🔋：電池残量の表示→p.46

② 圏外：受信レベルの表示→p.47

SELF：セルフモード中→p.124

TML：使用できないドコモUIMカードを挿入中→p.38

：データ転送モード中／ドコモケータイdatalinkの使用中→p.316、p.331、p.388

③ ：ｉモード中、接続中→p.216

④ ：ｉコンシェルの新着インフォメーションあり→p.246

※1
⑤ ：マナーモード中→p.109

：音声読み上げ可能／音声読み上げ中→p.143

⑥ ：圏内、歩数計・活動量計の自動送信失敗メールあり→p.157、p.342

⑦ ：公共モード（ドライブモード）中→p.73

⑧ ：目覚まし設定中→p.346

：予定の通知を設定中→p.348

：目覚ましや予定の通知を設定中

※2
⑨ 新着情報→p.25

着信：不在着信あり

メール：未読ｉモードメール、SMSあり

伝言：未確認の伝言メモあり

留守：留守番サービスセンターに伝言メッセージあり

R／F：未読メッセージR/Fあり

⑩ 歩数の表示→p.338

※1 マナーモードと音声読み上げを同時に設定しているときは、マナーモード中のマークが優先して表示されます。

※2 ⑥⑦⑧のマークよりも優先して表示されます。

着信や受信などの状態表示

FOMA端末を閉じているときに、電話を着信した場合やメール受信中など、待受中から変化があると、背面ディスプレイで状態をお知らせします。主な表示内容は次のとおりです。

■ 電話

着信中や通話中、応答保留中、切断中などの状態を表示します。

※ 背面ディスプレイ設定の「着信時の表示を設定する」を「表示しない」に設定しているときは、電話がかかってきても相手の電話番号や名前は表示しません。→p.112

＜電話着信中の場合＞

■ 伝言メモ

伝言メモの応答中や録音中に表示します。

- 伝言メモ→p.75

■ iモードメールやSMS、メッセージR/F、エリアメール

メールやSMS、メッセージR/F、エリアメールを受信したときなどの状態を表示します。

※ 背面ディスプレイ設定の「着信時の表示を設定する」を「表示しない」に設定しているときは、メールを受信しても相手のメールアドレスや名前は表示しません。→p.112

- iモードメール受信→p.171
- SMS受信→p.199
- メッセージR/F受信→p.188
- エリアメール受信→p.194

＜メール受信完了の場合＞

■ 圏内自動送信や歩数計・活動量計の自動送信

圏内自動送信や歩数計・活動量計の自動送信に失敗したときに表示します。

- 圏内自動送信→p.157
- 歩数計・活動量計自動送信→p.342

■ 目覚まし、予定、お知らせタイマー

目覚まし時刻やスケジュール帳の予定を通知する日時になったとき、お知らせタイマーのカウントダウン中や時間になったときに表示します。

- 目覚まし→p.346
- スケジュール帳→p.348
- お知らせタイマー→p.346

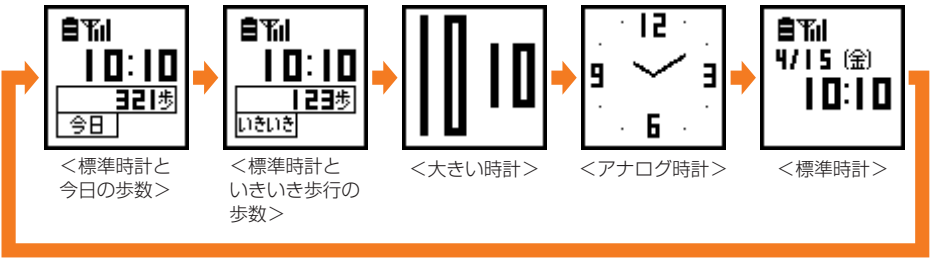
＜目覚ましの場合＞

※ この他にも、電池が切れそうなときやオールロック中、おまかせロック中、開閉ロック起動時の状態を表示したり、電話着信音量や受話音量の調節、ｉモード問い合わせやSMS問い合わせ、ケータイデータお預かりサービスのお預かりセンターへの接続、集音中、音声録音、アルバム再生、メロディの再生、ｉコンシェルのインフォメーションの受信、赤外線通信、データ通信を行ったときなどにも表示します。

背面の表示切り替え

背面ディスプレイの照明が点灯しているときに(ｍ)を押すと、押すたびに表示が切り替わります。切り替えた表示の設定は、電源を入れ直すか各種設定リセットを行うまで保持されます。

- 背面ディスプレイ設定の「背面画面の時計表示を設定する」を「読上ボタンで切替」に設定している場合は、次のように表示が切り替わります。



＜標準時計と今日の歩数＞　＜標準時計といきいき歩行の歩数＞　＜大きい時計＞　＜アナログ時計＞　＜標準時計＞

- 歩数計の設定を「利用しない」に設定している場合は、標準時計と今日の歩数、標準時計といきいき歩行の歩数は表示されません。
- FOMA端末を閉じると、背面ディスプレイの照明が点灯します。約15秒間何も操作しないと照明が消灯しますが、(＋)(－)(ｍ)のいずれかを押すと再度点灯します。
  エコモード中に照明が消灯した場合は、何も表示されなくなります。
- 背面ディスプレイの点灯設定で「点灯する」に設定している場合は、FOMA端末を持ち上げて傾けると照明が点灯します。→p.113
- 新着情報があるときは、新着情報のマークが表示された標準時計に切り替わります。
- 標準時計の表示形式は、24時間形式または12時間形式に設定できます。→p.116

お知らせ

- 背面ディスプレイに情報が表示されているときにFOMA端末を開くと、表示は消えます。
- FOMA端末を閉じているときに電話がかかってきたりメールを受信したりして背面ディスプレイの表示が切り替わった場合は、照明が自動的に点灯します。
- 標準時計と今日の歩数、標準時計といきいき歩行の歩数を表示しているときは、背面ディスプレイ下部に表示されるマークのうち✉は表示されません。また、大きい時計、アナログ時計を表示しているときは、すべてのマークが表示されません。ただし、新着情報のマークが表示されるときは標準時計に切り替わり、マークが確認できます。
- 電話着信時やメール受信時の相手の情報、アルバム再生中やメロディ再生中の題名が、1行に表示できる文字数を超える場合は、スクロールして表示されます。再びスクロール表示するときは、(ｍ)を押します。

メニュー操作のしかた

待受画面で(メニュー)を押すと表示されるメニュー画面や、(メール)を押すと表示されるメールメニュー画面などから、各種機能を選択して実行します。機能を選択するには、マルチカーソルボタン（十字ボタン）を押す方法と、ダイヤルボタンを押す方法があります。本書では、操作の方法を主にダイヤルボタンを押す方法（ショートカット操作）で説明しています。

- メニューのほかに、各種項目の一覧などでも、マルチカーソルキーで選択できます。項目に番号や記号が割り当てられている場合は、ショートカット操作でも選択できます。
- 実行できる機能については、「メニュー一覧」をご覧ください。→p.390
- 各種ロック機能を設定している場合やドコモUIMカードを取り付けていない場合などに機能を選択すると、実行できない理由などを表示します。サブメニューの場合は、実行できない機能はグレーなどで薄く表示され選択できません。
- メニュー形式選択でメニューのデザインを「タイル」に設定したときは、タイル形式のメニューの項目名は本書での記載と異なります。また、マルチカーソルボタン（十字ボタン）での機能の選択方法も異なります。
- メニュー形式の選択とメニュー項目名について→p.113

マルチカーソルボタン（十字ボタン）での機能選択

リスト形式のメニューから機能を選択するとき

〈例〉「ボタンを押した時の音を設定する」を実行する

1 待受画面で(メニュー)を押す

メニュー画面が表示されます。

①ページ

表示中のページ番号と総ページ数が表示されます。

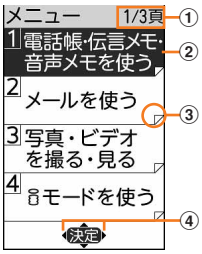
②カーソル

選択している機能の色が変わります。

③次の階層のメニューがあることを示します。

④表示中のメニュー画面に続きがある場合に表示されます。

続きを表示するときは、(メール)(i-αppli)を数回押してカーソルを移動するか、(前)(次)を押して画面を切り替えます。

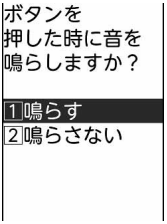


2 (i-αppli)を押して「✱設定を行う」を選択▶決定を押す

「✱設定を行う」のメニュー画面が表示されます。

- (メール)：カーソルが上の機能に移動します。
- (i-αppli)：カーソルが下の機能に移動します。
- (前)：前のページを表示します。
- (次)：次のページを表示します。

3 を押して「6 ボタンを押した時の音を設定する」を選択▶決定を押す



4 や を押して「1 鳴らす」または「2 鳴らさない」を選択▶決定を押す

ボタン確認音を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

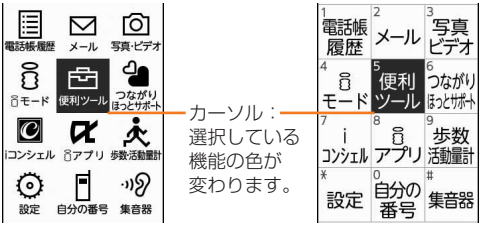
- を押すと待受画面に戻ります。

タイル形式のメニューから機能を選択するとき

〈例〉「ボタン操作音」を選択する

1 待受画面でメニューを押す

メニュー画面が表示されます。



タイル（アイコン）　タイル（文字）

2 や を押して「設定」を選択▶決定▶ や を押して「ボタン操作音」を選択▶決定を押す

- ：カーソルが上の機能に移動します。
- ：カーソルが下の機能に移動します。
- ：カーソルが左の機能に移動します。
- ：カーソルが右の機能に移動します。

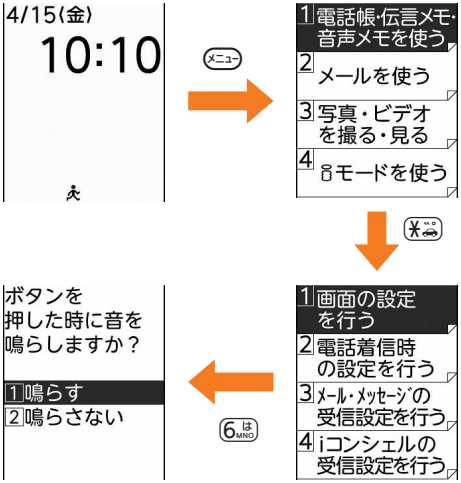
ダイヤルボタンでの機能選択〈ショートカット操作〉

各メニューや項目に番号や記号が割り当てられている場合は、対応するダイヤルボタン（1あ/@～9わ/WXYZ、0わん/ー/、*/+、#/ マナ）を押して選択できます。これをショートカット操作といいます。

- メニュー形式が「タイル（アイコン）」の場合は、各メニュー番号や記号が表示されていませんが、「タイル（文字）」と同様のショートカット操作ができます。

〈例〉「ボタンを押した時の音を設定する」を実行する

1 待受画面で（メニュー）▶「＊設定を行う」▶「6ボタンを押した時の音を設定する」を押す



2 「1鳴らす」または「2鳴らさない」を押す

ボタン確認音を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

- （終了）を押すと待受画面に戻ります。

待受画面や1つ前の画面に戻る

機能を選択した後で、1つ前の画面や待受画面に戻るときは次のボタンを押します。

（戻る/チャネル）：1つ前の画面に戻ります。

（終了）：待受画面に戻ります。

前後のページや項目を表示する

メニューや選択項目が複数ページにわたる場合は、ガイド行の↕表示に従って、次の操作で前後のページや項目を表示します。

- ガイド行に ↕ が表示されている場合は、カーソル位置のメニューや項目の上下に項目があることを示しています。✉ 📝 を押してカーソルを移動します。ページの最後の項目で 📝 を押すと次のページまたは最初のページが、ページの先頭の項目で ✉ を押すと前のページまたは最後のページが表示されます。
- ガイド行に◀ ▶が表示されている場合は、前後のページまたはカーソル位置の項目の左右に項目があることを示しています。◀ ▶ を押してカーソルを移動します。前後のページがあるときは、◀ を押すと前のページまたは最後のページが、▶ を押すと次のページまたは最初のページが表示されます。
  画面によっては、メニュー で前のページを、電話帳 で次のページを表示できます。

サブメニューからの機能選択

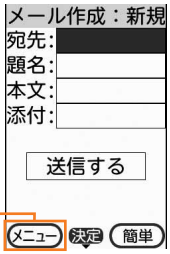
ガイド行の左側に「メニュー」と表示されているときは、メニュー を押してサブメニューを表示し、さまざまな操作ができます。

〈例〉メール作成画面のサブメニューを表示する

1 待受画面で ✉ を1秒以上押す

メール作成画面が表示されます。

- 簡単メール作成画面が表示されたときは、電話帳 ▶「1切替える」を押します。



ガイド行の左側に表示されます。

2 メニュー を押す

サブメニューが表示されます。

- サブメニューは、操作する画面により異なります。

カーソル：選択している機能の色が変わります。

3 ダイヤルボタンを押す

機能が実行されます。

- 利用する機能の左側に表示される番号に対応するダイヤルボタンを押します。
- サブメニュー表示中にメニューを押すと、サブメニューが閉じます。
- ✉ 🔊を押して利用する機能を選択し、決定を押しても機能を実行できます。

通知画面の閉じかたを選ぶ

各設定や操作が完了したときの確認画面（通知画面）の閉じかたを自動にするか手動にするかを設定することができます。

- お買い上げ時は「自動で閉じる」に設定されています。本書の操作手順で通知画面を自動で閉じる操作を説明する場合は「約5秒後」や「約5秒たつと」などと記載しています。
- 自動で閉じる設定にしても、音声読み上げの設定の動作が「自動で読み上げ」または「手動で読み上げ」に設定されている場合は自動で閉じません。また、通知画面によっては約5秒経過しても自動的に閉じない場合があります。

1 待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「1画面の設定を行う」▶「9通知画面の閉じ方を選ぶ」を押す

通知画面の閉じかたを選択する画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1自動で閉じる：決定を押さない場合は、約5秒たつと自動的に通知画面を閉じます。

2手動で閉じる：決定を押した場合だけ通知画面を閉じます。

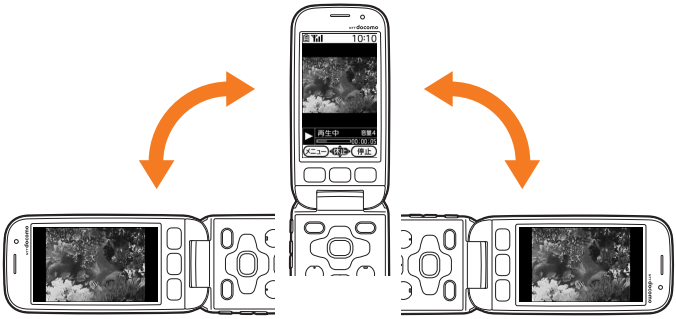
2 「1自動で閉じる」または「2手動で閉じる」を押す

通知画面を自動／手動で閉じるに設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、「自動で閉じる」を設定した場合は約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

画面の縦横表示を自動で切り替える

動画／ｉモーションの再生中やJPEG形式の画像を表示中（待受画面を除く）に、FOMA端末を左に90度、または右に90度傾けると、傾きに合わせて画面の縦横や表示サイズが自動的に切り替わります。〈オートローテーション設定〉

・アルバム再生、着信音設定やメール添付時の内容確認の再生では切り替わりません。



1 待受画面で(メニュー)▶「＊設定を行う」▶「＃その他の設定を行う」▶「0画面の縦横を自動で切替える」▶「1切替える」または「2切替えない」を押す

画面の縦横を自動で切り替える／切り替えないに設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

使いかたを電話で確認する

携帯電話の使いかたが分からないときに、簡単な操作でらくらくホンセンターに電話をかけて確認できます。また、使いかたガイドを使って調べることもできます。

らくらくホンセンターとは
各種手続き、お問い合わせなどのご用件をアドバイザーが直接お答えする受付センターです。
らくらくホンセンターに電話した際の通話料はかかりません。
受付時間　午前9：00～午後8：00（年中無休）

1 待受画面で(使い方)を押す

■らくらくホンセンターにすぐに電話する場合：待受画面で(使い方)を1秒以上押す

2 「1らくらくホンセンターに電話する」を押す

らくらくホンセンターに電話がかかります。

■使いかたガイドを使う場合：「2使いかたガイドを見る」を押す

・以降の操作は「使いかたガイドを使う」の操作2以降をご覧ください。→p.36

使いかたガイドを使う

携帯電話の使いかたや、困ったときの対処など、目次や索引、キーワードから調べたり、調べた機能を実行することができます。

1 待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「0使いかたガイドを使う」を押す

使いかたガイドメニューが表示されます。

使いかたガイドメニュー

2 「1使いかた検索」～「4便利な使いかた」のいずれかを押す

■ 目次／索引／キーワードから調べる場合：「1使いかた検索」▶「1目次から検索」～「4しゃべって検索」のいずれかを押す

- 「1目次から検索」押した場合は、目次を選択▶決定▶項目を選択▶決定を押します。
- 「2索引から検索」を押した場合は、索引を選択▶決定を押します。
- 「3入力して検索」を押した場合は、検索したい単語や文章を入力▶決定▶検索結果から項目を選択▶決定を押します。
- 「4しゃべって検索」を押した場合は、決定▶検索したい単語や文章を発声▶検索結果から項目を選択▶決定を押す

■ 検索履歴から調べる場合：「2検索履歴」▶履歴のタイトルを選択▶決定を押す

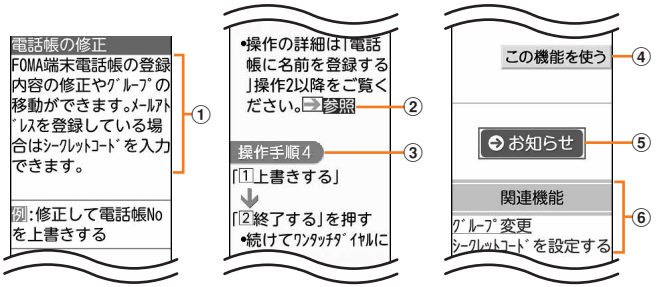
■ エラーメッセージなどから調べる場合：「3困ったときには」▶「1故障かな？と思ったら」～「3問い合わせ先」のいずれか▶タイトルやメッセージを選択▶決定を押す

■ 便利な使いかたを調べる場合：「4便利な使いかた」▶タイトルを選択▶決定を押す

- 検索結果によっては、さらに項目を選択して決定を押す必要があります。

ガイド画面の見かたと操作

使いかたガイドのガイド画面では、表示項目やボタンを操作して、関連する機能を調べたり、機能を実行することができます。



① 機能の概要を表示しています。

②「➔参照」：選択して決定を押すと関連する説明画面に移動します。

③「操作手順」：機能の操作手順を表示しています。

④ この機能を使う：選択して決定を押し、機能を起動するかの確認画面で「1起動する」を押すと調べた機能を実行します。機能を実行すると、使いかたガイドは終了します。らくらく検索から使いかたガイドを起動した場合などで、他の機能が起動しているときは、機能を実行できません。

⑤ お知らせ：選択して決定を押すと機能に関連するお知らせや注意事項などを表示します。

⑥「関連機能」：機能に関連した内容を一覧から選択して決定を押すと関連する説明画面に移動します。

- ガイド行に「大きく」または「小さく」と表示されている場合は、メニューを押すと表示する文字サイズを変更できます。ガイド画面の表示は文字サイズを小さくしたときの例です。
- ガイド行に「タイトル」と表示されている場合は、電話帳を押すとタイトルを確認できます。

ドコモUIMカードを使う

ドコモUIMカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されているICカードです。FOMA端末に挿入して使用します。

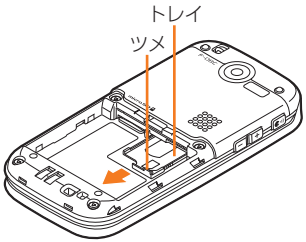
- ドコモUIMカードを正しく取り付けていない場合やドコモUIMカードに異常がある場合は、電話の発着信やメールの送受信などはできません。
- ドコモUIMカードの取り扱いについての詳細は、ドコモUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

取り付けかた／取り外しかた

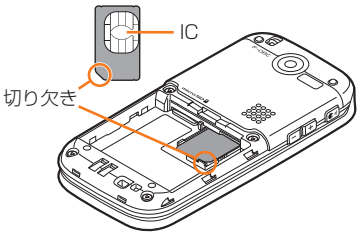
- 電源を切ってからFOMA端末を閉じ、手に持って行ってください。FOMA端末を置いた状態で行うと、背面ディスプレイが破損するおそれがあります。
- ドコモUIMカードのICに触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。
- リアカバーと電池パックの取り付けかた／取り外しかた→p.41

■ 取り付けかた

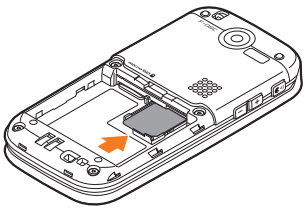
① ツメを引き、「カチッ」と音がするまでトレイを引き出します。



② IC面を下にして、切り欠きの向きを合わせてドコモUIMカードをトレイに載せます。

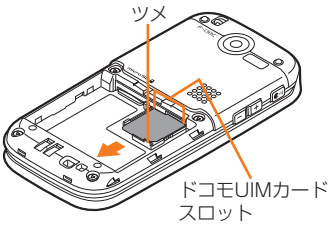


③ トレイを奥まで押し込みます。



■ 取り外しかた

①ツメを引き、「カチッ」と音がするまでトレイを引き出し、ドコモUIMカードを取り外します。



お知らせ

- ドコモUIMカードの無理な取り付けや取り外し、トレイが斜めに挿入された状態での電池パックの取り付けなどによって、ドコモUIMカードやトレイが壊れる場合がありますのでご注意ください。
- トレイを強く引き抜いて外れてしまった場合には、ドコモUIMカードスロット内部のガイドレールに合わせてまっすぐに押し込んでください。このとき、ドコモUIMカードは取り外した状態で行ってください。
- 本FOMA端末では、FOMAカード（青色）は使用できません。FOMAカード（青色）をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

暗証番号

ドコモUIMカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号があります。→p.119
ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→p.120

ドコモUIMカードのセキュリティ機能

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護したり、第三者が著作権を有するデータやファイルを保護したりするための機能として、ドコモUIMカードのセキュリティ機能が搭載されています。

- FOMA端末にお客様のドコモUIMカードを取り付けている状態で、サイトなどからデータやファイルをダウンロードしたり、メールに添付されたデータを取得したりすると、それらのデータやファイルには自動的にドコモUIMカードのセキュリティ機能が設定されます。
- 異なるドコモUIMカードに差し替えた場合やドコモUIMカードを取り付けていない場合、ドコモUIMカードのセキュリティ機能が設定されたデータやファイルの表示や再生はできません。
- ドコモUIMカードのセキュリティ機能が設定されているデータやファイルは、赤外線通信やmicroSDカードへのコピーや移動ができません。
- ドコモUIMカードのセキュリティ機能の対象となるデータは次のとおりです。
  - 画面メモ
  - iモードメール添付のデータ（トルカを除く）、デコメール®に挿入されている画像
  - メッセージR/F
  - ドコモUIMカードのセキュリティ機能の対象となるデータが含まれたデコメール®テンプレート
  - 画像（GIFアニメーション、Flash画像、お預かりセンターからダウンロードした画像を含む）、iモーション、メロディ、マチキャラ
  - iアプリ（iアプリ待受画面のiアプリを含む）、トルカ（詳細）の画像
  - 着うた®

  ※「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

お知らせ

- お買い上げ時に登録されているiアプリの「メモ」を最新にした場合は、ドコモUIMカードのセキュリティ機能は設定されません。
- ドコモUIMカードのセキュリティ機能の対象になっているデータを待受画面や着信音などに設定しているときに、異なるドコモUIMカードに差し替えて使用したり、ドコモUIMカードを取り付けずに使用したりすると、待受画面や着信音などの設定はお買い上げ時の状態に戻ります。ドコモUIMカードのセキュリティ機能が設定されたときのドコモUIMカードを取り付けると、設定は元の状態に戻ります。
- 赤外線通信、microSDカード、ドコモケータイdatalinkを使用して入手したデータや、内蔵のカメラで撮影した写真やビデオには、ドコモUIMカードのセキュリティ機能が設定されません。
- 次のメニューの設定項目にはドコモUIMカードに保存されるものがあります。ドコモUIMカードを差し替えると、差し替えたドコモUIMカードに保存されている設定内容が表示されます。詳細は「メニュー一覧」をご覧ください。→p.390
  - 自分の電話番号を見る
  - SMSを設定する
  - 証明書の表示と使用を設定する
  - ドコモUIMカードのPINコードを設定する

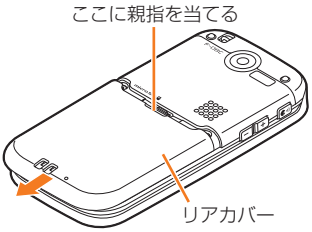
電池パックの取り付けかた／取り外しかた

- 電源を切ってからFOMA端末を閉じ、手に持って行ってください。FOMA端末を置いた状態で行うと、背面ディスプレイが破損するおそれがあります。
- 電池パックを取り外すとソフトウェア更新の予約が解除される場合があります。また、日付時刻設定を「手動で設定する」に設定中に電池パックを取り外すと、日付・時刻が消去される場合があります。

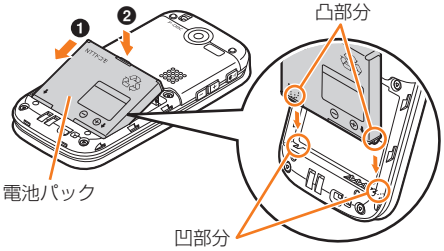
■ 取り付けかた

① 親指でリアカバーを押しながら、矢印の方向に約2mmスライドさせて外します。

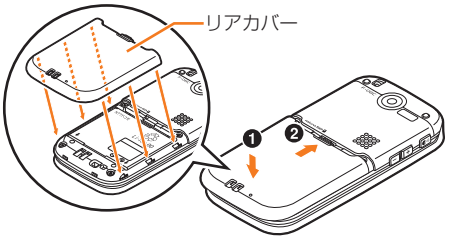
※ リアカバーがスライドしにくい場合は、FOMA端末を持って、両方の親指でリアカバーをスライドさせてください。



② 電池パックのラベル面を上にして、電池パックの凸部分をFOMA端末の凹部分に合わせて❶の方向に差し込み、❷の方向に押し付けてはめ込みます。



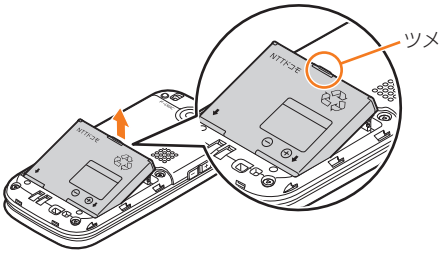
③ リアカバーの6箇所のツメをFOMA端末のミゾに合わせます。FOMA端末とリアカバーにすき間が生じないように❶の方向に押さえながら、❷の方向にスライドさせて取り付けます。



■ 取り外しかた

① 取り付けかたの操作①を行います。

② 電池パックのツメをつまんで、矢印方向に持ち上げて取り外します。



お知らせ

- 電池パックを無理に取り付けようとするとFOMA端末の端子が壊れる場合があるため、ご注意ください。
- 上記以外の方法で取り付け／取り外しを行ったり、力を入れすぎたりすると、FOMA端末やリアカバーが破損するおそれがあります。

充電する

お買い上げ時、電池パックは十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタまたはDCアダプタで充電してからお使いください。

- F-08Cの性能を十分に発揮するために、必ず電池パック F18をお使いください。

充電時間（目安）

電源を切って電池パックを空の状態から充電した場合の充電時間の目安は次のとおりです。電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。
また、FOMA端末を開いた状態のときや通話中、通信中は充電時間が長くなる場合があります。充電を早く完了させるには、操作を終了し、FOMA端末を閉じてから充電することをおすすめします。

ACアダプタ	約150分	DCアダプタ	約150分

十分に充電したときの使用時間（目安）

使用時間は充電のしかたや使用環境によって変動します。
連続待受時間および連続通話時間について→p.448

連続待受時間	静止時：約610時間 移動時：約430時間
連続通話時間	約220分

- 連続待受時間とは、F-08Cを閉じて電波を正常に受信できる状態での目安です。
- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態での目安です。
- 電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場合など）などにより、通話や通信、待受時間は約半分程度になる場合があります。
- ｉモード通信を行うと通話や通信、待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくても、カメラ、ｉアプリ、音声読み上げなどの各種機能のご利用頻度が多い場合、通話（通信）・待受時間は短くなります。

電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらｉアプリやｉモード通信などを長時間利用すると、電池パックの寿命が短くなることがあります。

充電について

- 詳しくは、FOMA ACアダプタ 01／02（別売）、FOMA 海外兼用ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。
- FOMA ACアダプタ 02およびFOMA 海外兼用ACアダプタ 01はAC100Vから240Vまで対応していますが、ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。

電池パックの上手な使いかた

- **電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。**
  FOMA端末の電源を入れた状態で充電が完了した後は、FOMA端末は電池パックから電源が供給されます。そのままの状態で長時間置くと、電池パックが消費され、短い時間しか使用できずに電池残量警告音が鳴ってしまう場合があります。その場合は、FOMA端末をACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットし直してから充電を行ってください。
- **環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。**

Li-ion 00

充電中の動作と留意事項

充電が開始されると充電開始音が鳴り、充電ランプが点灯し、ディスプレイや背面ディスプレイの電池マークが点滅します。充電が終わると、充電完了音が鳴り、充電ランプが消灯し、電池マークの点滅が止まります。

- 充電を開始すると充電ランプが点灯します。ただし、環境によっては充電開始時に充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが故障ではありません。しばらくたっても点灯しない場合は、FOMA端末をACアダプタや卓上ホルダなどから外してもう一度セットし直してから充電を行ってください。充電開始後、しばらくたっても点灯しない場合はドコモショップなどの窓口にお問い合わせください。
- 充電中にカメラを利用すると、充電ランプが消灯したり、点滅したりしますが故障ではありません。カメラを終了すると点灯します。
- 十分に充電されている電池パックをFOMA端末に取り付けてACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタに接続すると、充電ランプが一瞬点灯してすぐに消灯する場合がありますが、故障ではありません。
- 充電中はFOMA端末や電池パック、ACアダプタ、DCアダプタが温かくなる場合がありますが、異常ではありません。ただし、充電中に通話や通信、その他機能の操作を長時間行ったりすると、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が正常に終了しない場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がるのを待って充電を行ってください。
- 電源を切っているときや通話中、通信中、マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中、充電確認音を「知らせない」に設定しているときは、充電開始音や完了音は鳴りません。

ACアダプタ／DCアダプタや卓上ホルダで充電する

FOMA ACアダプタ01／02（別売）、FOMA DCアダプタ01／02（別売）、卓上ホルダ F33（別売）の取扱説明書もご覧ください。

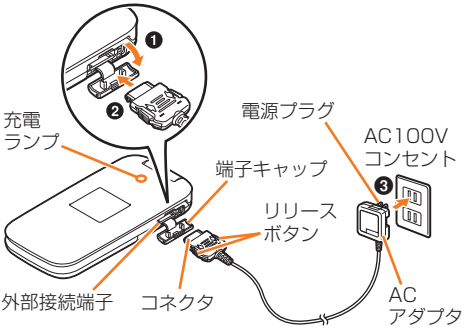
・FOMA端末に電池パックを取り付けて充電します。

■ ACアダプタ／DCアダプタだけで充電する

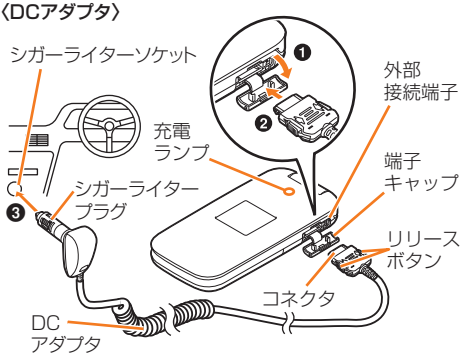
①FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを❶の方向に開き、ACアダプタまたはDCアダプタのコネクタを矢印の表記面を上にして、FOMA端末と水平に差し込みます（❷）。

②ACアダプタの場合は電源プラグを起こしてAC100Vコンセントへ差し込みます（❸）。DCアダプタの場合はシガーライタープラグを車のシガーライターソケットへ差し込みます（❸）。

〈ACアダプタ〉



〈DCアダプタ〉



③充電開始音が鳴り、充電ランプが点灯し、電池マークが点滅します。

④充電が終わると充電完了音が鳴り、充電ランプが消灯し、電池マークの点滅が止まります。

⑤ACアダプタの場合は電源プラグをコンセントから抜きます。DCアダプタの場合はシガーライタープラグをシガーライターソケットから抜きます。

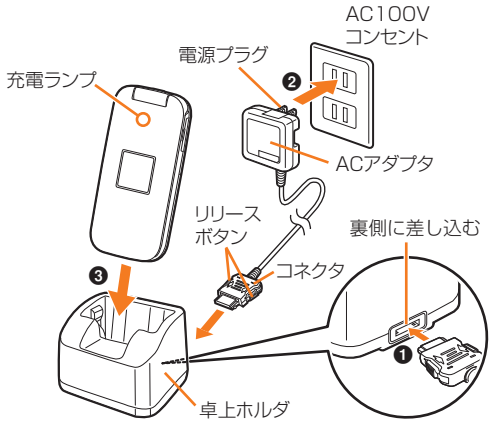
⑥コネクタの両側のリリースボタンを押してFOMA端末から水平にコネクタを外し、端子キャップを閉じます。

■ 卓上ホルダと組み合わせて充電する

FOMA ACアダプタ 01／02（別売）と卓上ホルダ F33（別売）を組み合わせて充電できます。

- 卓上ホルダは平らな面に置いて使用してください。
- 正しく取り付けるために、FOMA端末を閉じた状態で卓上ホルダに差し込んでください。また、ストラップなどをはさまないようにご注意ください。

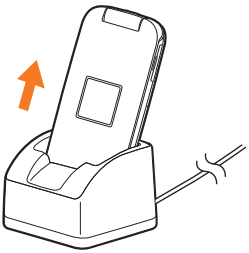
① ACアダプタのコネクタを、矢印の表記面を上にして卓上ホルダに水平に差し込みます（❶）。
② ACアダプタの電源プラグを起こしてAC100Vコンセントへ差し込みます（❷）。
③ 電池パックを取り付けたFOMA端末を卓上ホルダにしっかりと差し込みます（❸）。
④ 充電開始音が鳴り、充電ランプが点灯し、背面ディスプレイの電池マークが点滅します。
⑤ 充電が終わると充電完了音が鳴り、充電ランプが消灯し、背面ディスプレイの電池マークの点滅が止まります。
⑥ FOMA端末を卓上ホルダから取り外します。



取り外しかた

卓上ホルダを押さえながらFOMA端末を持ち上げ、矢印方向に引き抜きます。

- 長時間使用しないときはACアダプタをコンセントから抜いてください。



お知らせ

- ACアダプタやDCアダプタのコネクタを抜き差しするときは、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。
- FOMA端末を使用しないときや車から離れるときは、DCアダプタのシガーライタープラグをシガーライターソケットから外し、FOMA端末からDCアダプタのコネクタを抜いてください。
- DCアダプタのヒューズ（2A）は消耗品です。交換するときは、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

電池残量の確認のしかた

ディスプレイ上部に表示される電池マークで、電池残量の目安が確認できます。〈電池残量〉

・FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに電池残量が表示されます。

（電池残量 3） 十分残っています	（電池残量 2） 少なくなっています	（電池残量 1） ほとんどありません。 充電してください

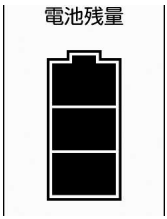
電池残量を音と表示で確認する

電池残量を音と表示で確認できます。

1 待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[7]情報の表示やリセットを行う」▶「[5]電池残量を確認する」を押す

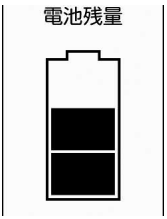
電池残量が表示され、ボタン確認音の設定に従い、電話着信時の音量で残量に応じた回数分鳴ります。しばらくたつとメニュー画面に戻ります。

（電池残量3）
電池残量



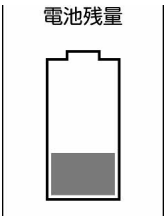
音が3回鳴ります

（電池残量2）
電池残量



音が2回鳴ります

（電池残量1）
電池残量



音が1回鳴ります

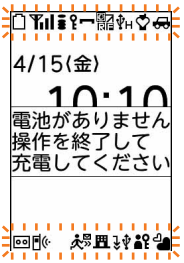
・(終了)を押すと待受画面に戻ります。

電池が切れそうになると

メッセージ表示や電池残量警告音でお知らせします。充電を開始すると電池残量警告音は止まりますが、すぐに電池残量警告音を止める場合は(終了)を押します。

■ 電話中のとき

受話口から電池残量警告音が聞こえ、電池残量がない旨のメッセージが表示されます。このメッセージは決定 戻る/チャネル (終了)のいずれかを押すと消えます。電池残量警告音が聞こえてから約20秒後に通話が切れて、右の画面が表示されます。その約1分後に自動的に電源が切れます。



■ 待受中のとき

電池残量がない旨のメッセージが表示されます。このメッセージは決定 戻る/チャネル (終了)のいずれかを押すと消えますが、しばらくたつと電池残量警告音が鳴り、右の画面が表示され、すべてのマークが点滅します。その約1分後に自動的に電源が切れます。

・FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「電池残量なし」と表示されます。

電池残量警告音の鳴動設定

電池残量がなくなったときの警告音を鳴らすかどうかを設定します。〈電池残量警告音〉

1 待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[5]音を設定する」▶「[2]電池残量の警告を音で通知する」を押す

電池残量警告音を鳴らすかどうかの確認画面が表示されます。

2 「[1]鳴らす」または「[2]鳴らさない」を押す

電池残量警告音を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 本機能を「鳴らさない」に設定しても、通話中に電池が切れそうになったときは受話口から電池残量警告音が鳴ります。
- 本機能を「鳴らす」に設定しても、電源が入っていないときやマナーモード中、公共モード（ドライブモード）中は電池残量警告音は鳴りません。

電源を入れる／切る

FOMA端末の電源の入れかた、切りかたについて説明します。〈電源ON／OFF〉

- 電源を入れたときに、ソフトウェア更新を実行するかどうかの確認画面が表示される場合があります。→p.434

電源を入れる

1 (電源)を2秒以上押す

バイブレータが1回振動し、しばらくたつと起動中である旨のメッセージが表示され、待受画面が表示されます。

- (電源)を2秒以上押し続けなくても、数回続けて押した場合にも電源が入ることがあります。
- 初めて電源を入れたとき→p.48

強←→弱	圏外 サービスエリア外や電波の届かない所

- 電波の受信レベルの目安が確認できます。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに受信レベルが表示されます。

電源を切る

1 (電)を2秒以上押す

バイブレータが2回振動し、終了している旨のメッセージが表示された後、電源が切れます。

お知らせ

- サービスエリア外や電波の届かない所で 圏外 が表示されているときに通話や通信を行うには、表示が消える場所まで移動してください。ただし、Yahoo!が表示されていて、移動せずに通話していても、通話が切れる場合があります。
- ドコモUIMカードを取り付けていない場合は、ドコモUIMカードの挿入が必要な旨のメッセージが表示されます。電源を切り、ドコモUIMカードを取り付けてから電源を入れ直してください。→p.38
- ドコモUIMカードを差し替えた場合は、電源を入れた後に端末暗証番号の入力を行う必要があります。正しい端末暗証番号を入力すると待受画面が表示されます。誤った端末暗証番号を連続5回入力すると、電源が切れます（ただし再び電源を入れることは可能です）。
- PIN1コード使用の設定中は、PIN1コードの入力が必要です。→p.120
- 日付・時刻が設定されていないときは、日付と時刻を設定する旨のメッセージが表示されます。→p.50
- FOMA端末を開いたまま何も操作しないでいると、約1分でディスプレイの照明が暗くなり、その約4分後、さらに暗くなります（ディスプレイの照明設定で「さらに暗く設定」を設定した場合を除く）。約30分が経過すると、ディスプレイに何も表示されなくなります（省電力）。エコモード中は、約1分間でディスプレイに何も表示されなくなります。→p.115
  ディスプレイに何も表示されない状態のときは、決定が点滅して省電力の状態であることをお知らせします。電話中でも同様に省電力の状態になります。いずれかのボタンを押すか、電話の着信などがあったりすると、ディスプレイは再び表示されます。

初めて電源を入れたときは

確認画面が表示されるので、必要に応じて設定や操作を行います。設定した内容は後から変更できます。

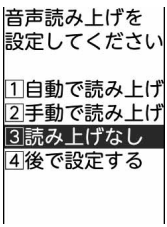
- データ一括削除の再起動後も、同様に設定画面が表示されます。

1 携帯電話を使う前の準備を始める旨の確認画面で決定を押す

2 音声読み上げの設定画面で「1自動で読み上げ」～「3読み上げなし」のいずれかを押す

読み上げの設定をした旨の確認画面で、決定を押すか、約5秒たつと次の操作に進みます。

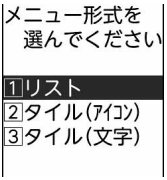
- 「1自動で読み上げ」または「2手動で読み上げ」を押した場合は、画面に従って各項目を設定します。これ以降の操作では、約5秒たっても確認画面は閉じません。
- 音声読み上げの設定→p.142
- 「4後で設定する」を押して次の操作に進み、次に電源を入れ直すまでに設定を行わなかった場合は、再び設定画面が表示されます。



3 メニュー形式の選択画面で「1リスト」～「3タイル（文字）」のいずれかを押す

メニュー形式を設定した旨の確認画面で、決定を押すか、約5秒たつと次の操作に進みます。

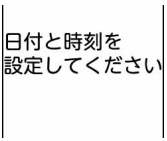
- メニュー形式の選択→p.113
- 次に電源を入れ直すまでに設定を行わなかった場合は、再び確認画面が表示されます。



4 日付・時刻の設定画面で決定▶日付時刻を設定する

日付・時刻を設定した旨の確認画面で、決定を押すか、約5秒たつと次の操作に進みます。

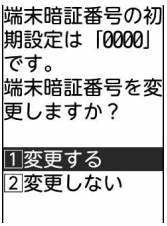
- 日付時刻設定の概要と設定→p.50
- 圏外などでドコモのネットワークからの時刻情報を取得できず、日付・時刻が設定されなかった場合に表示されます。



5 端末暗証番号変更画面で「1変更する」▶新しい端末暗証番号を入力▶決定▶新しい端末暗証番号をもう一度入力▶決定を押す

端末暗証番号を変更した旨の確認画面で、決定を押すか、約5秒たつと次の操作に進みます。

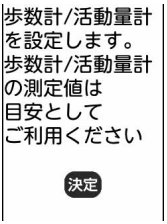
- 端末暗証番号変更→p.119
- 次に電源を入れ直すまでに変更を行わなかった場合は、再び確認画面が表示されます。



6 歩数計・活動量計の設定画面で決定▶身長を入入力▶決定▶体重を入力▶決定押す

利用を開始した旨の確認画面で決定を押すと次の操作に進みます。

- 歩数計・活動量計の概要と設定→p.338
- 次に電源を入れ直すまでに設定を行わなかった場合は、再び確認画面が表示されます。



7 ソフトウェア更新の確認画面で決定を押す

待受画面が表示されます。

- ソフトウェア更新の概要と設定→p.434、p.439

Welcomeメールを確認する

「はじめまして」「ベーシック3のご紹介」のメールが保存されています。待受画面には✉が表示され、新着情報では未読メールがあることをお知らせします。

1 待受画面で✉を押す

受信メールのフォルダー一覧が表示されます。

• 受信メールの表示→p.174

現在の通信状態を表示する

現在の通信状態を確認できます。

1 待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「＃その他の設定を行う」▶「7情報の表示やリセットを行う」▶「6通信状態を表示する」を押す

• 「パケットのみ可能」のときは電話を除く通信サービスが利用できます。

現在の通信状態
すべて可能

日付・時刻を合わせる

ドコモのネットワークからの時刻情報を基に自動で時刻を補正するように設定したり、日付・時刻を手動で設定したりできます（通常は手動で設定する必要はありません）。〈日付時刻設定〉

〈例〉手動で日付・時刻を設定する

1 待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「9時計を設定する」▶「1日付と時刻を設定する」を押す

日付と時刻を自動で設定しますか？
1自動で設定する
2手動で設定する

2 「2手動で設定する」を押す

■ 自動で時刻補正をする場合：「1自動で設定する」を押す

日付と時刻を自動で設定する旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

3 日付と時刻を入力する

- 日付の西暦は下2桁を入力します。月、日が1桁のときは、前に0を付けます。
- 日付は2000年1月1日から2050年12月31日まで設定できます。
- 時刻は24時間制（00：00～23：59）で設定します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。
- ◀▶：選択位置を変更できます。
- ✉/ｉモード：日付と時刻の入力を切り替えます。

4 決定を押す

日付と時刻を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 「自動で設定する」に設定すると、電源を入れたときに自動で時刻の補正を行います。電源を入れてからしばらくたっても補正されない場合は、電源を入れ直してください。ただし、ドコモUIMカードを取り付けていない場合や電波状態によっては、電源を入れ直しても補正は行われません。また、ｉアプリによっては、動作中に補正できない場合があります。
- 「自動で設定する」に設定していても、数秒程度の誤差が生じる場合があります。
- 「手動で設定する」で日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。その場合は、もう一度設定を行ってください。
- ｉアプリ起動中に日付・時刻を手動で設定しようとすると、ｉアプリを終了させて日付・時刻を設定する旨のメッセージが表示されます。「終了する」を押すと、ｉアプリが終了し、日付・時刻が設定されます。
- 一度も自動時刻補正が行われず、日付･時刻が「--」で表示されているときは、時計やFlash画像などが正しく表示されません。また、次の機能は使用できません。
  - ユーザ証明書の操作
  - 再生期限制限や再生期間制限が設定されているｉモーションの取得、再生
  - 時刻設定による起動制限があるｉアプリDX、ｉアプリの自動起動
  - 自動電源ON設定、自動電源OFF設定
  - 通知時刻自動電源ON設定
  - 目覚まし、スケジュール帳
  - 赤外線でのスケジュールの送受信
  - ソフトウェア更新
  - スキャン機能のパターンデータ更新
  - 歩数計・活動量計の履歴の記録
  - つながりほっとサポートの利用記録
- 一度も自動時刻補正が行われず、日付･時刻が「--」で表示されているときは、次の機能で日時が記録されず、「----/--/--」などと表示されます。
  - リダイヤル
  - 着信履歴
  - 伝言メモ
  - カメラで撮影した写真やビデオの保存日時（データ名）
  - 送信メール、未送信メールの日時
  - 通話メモ

相手に自分の電話番号を通知する

電話をかけたとき、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させます。〈発信者番号通知〉

- 詳細はドコモのホームページをご覧ください。
- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際は、十分にご注意ください。
- 相手の電話機が、発信者番号表示ができるときに表示されます。
- サービスエリア外や電波の届かない所では、発信者番号通知は設定できません。電波状態のよい所で行ってください。
- 電話をかけるたびに、発信者番号を通知／非通知にすることができます。→p.63

発信者番号通知の設定

発信者番号通知を設定します。

1 待受画面で(メニュー)▶「＊設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「1発信者番号通知を使う」▶「1発信者番号通知を設定する」を押す

2 「1通知する」または「2通知しない」を押す

ネットワークに接続され、発信者番号通知を設定した旨のメッセージが表示されます。
(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

発信者番号通知の確認

発信者番号通知の設定内容を確認します。

1 待受画面で(メニュー)▶「＊設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「1発信者番号通知を使う」▶「2発信者番号通知設定を確認する」を押す

2 「1確認する」を押す

ネットワークに接続され、設定内容が表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

発信者番号通知の優先順位

複数の番号通知方法を同時に設定・操作した場合、次の優先順位で番号通知動作が行われます。ただし、ディスプレイの表示と実際の通知／非通知の発信が異なる場合があります。

① 相手の電話番号に「186」または「184」を付けた場合→p.63

② 発信時にサブメニューから発信者番号の通知／非通知を選択した場合→p.64

③ 発信者番号通知の設定をした場合→p.52

自分の電話番号を確認する

自分の電話番号（自局電話番号）や登録した個人情報を確認します。〈個人情報表示〉

1 待受画面で(メニュー)▶「0 自分の電話番号を見る」を押す

■ メールアドレスの自動取得の確認画面が表示された場合：「1 登録する」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

メールアドレスを取得して登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと個人情報（基本）画面が表示されます。

- 「2 登録しない」を選択すると、個人情報（基本）画面が表示されます。これ以降は、メールアドレスが登録されていない場合でも自動取得の確認画面は表示されなくなります。

■ 詳細情報を確認する場合：個人情報（基本）画面で決定▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

個人情報（詳細）画面が表示されます。

- 直前にメールアドレスを自動取得した場合は、端末暗証番号の入力画面は表示されません。
- (◁)(▷)：登録情報が複数ある場合に表示を切り替えます。
- 決定：個人情報（基本）画面と個人情報（詳細）画面を切り替えます。

2 (戻る/1チャネル)を押す

メニュー画面に戻ります。

個人情報の登録・修正

自分の名前や電話番号、メールアドレス、住所、メモ、誕生日などが登録できます。

- 電話番号は自局電話番号を除き最大2件、メールアドレスは最大3件登録できます。
- お客様のメールアドレスの確認方法→p.152
- 名前は全角16文字、半角32文字以内で漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。
- フリガナは半角32文字以内で半角カタカナ、半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。
- 電話番号は最大26桁入力できます。
- メールアドレスは半角50文字以内で入力します。半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。英字入力モード時に(1 あ/@)を押すと「.」「@」「-」、(＊ 空)を押すと「@docomo.ne.jp」「.com」「.or.jp」などを入力できます。
- 郵便番号は最大7桁、住所とメモは全角100文字、半角200文字以内で漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。

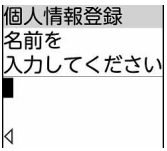
〈例〉2つ目の電話番号入力／メールアドレスを直接入力する

1 待受画面で(メニュー)▶「0 自分の電話番号を見る」を押す

- メールアドレスの自動取得の操作は「■メールアドレスの自動取得の確認画面が表示された場合」をご覧ください。→p.53

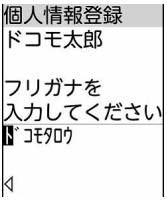
2 (電話帳)▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

- 操作1でメールアドレスを自動取得した場合は、端末暗証番号の入力画面は表示されません。



3 名前を入力▶決定を押す

入力した名前のフリガナが自動的に入力されています。



4 フリガナを確認または修正▶決定を押す

5 2つ目の電話番号入力の確認画面で「1 入力する」▶電話番号を入力▶決定▶3つ目の電話番号入力の確認画面で「2 入力しない」を押す

- 3つ目の電話番号入力の確認画面で「1 入力する」を押すと、3件目の電話番号も入力することができます。

6 メールアドレス入力の確認画面で「2 直接入力する」▶メールアドレスを入力▶決定▶2つ目のメールアドレス入力の確認画面で「2 入力しない」を押す

- メールアドレスの入力画面で「1 自動で取得する」を押した場合は、自動でメールアドレスを取得できます。
- 2つ目のメールアドレス入力の確認画面で「1 入力する」を押すと、2つ目のメールアドレスを入力できます。同様に3つ目のメールアドレスも入力することができます。

7 郵便番号と住所入力の確認画面で「1 入力する」▶郵便番号を入力▶決定▶住所を入力▶決定を押す

8 メモ入力の確認画面で「1 入力する」▶メモを入力▶決定を押す

9 誕生日入力の確認画面で「1入力する」を押す

入力方法の選択画面が表示されます。

- 登録済みの誕生日を削除するときは、誕生日修正の確認画面で「3削除する」を押します。

10 「1明治で入力する」～「4平成で入力する」のいずれか▶決定▶年を入力▶決定▶月を入力▶決定▶日を入力▶決定▶登録の確認画面で決定を押す

個人情報を登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと個人情報（基本）画面に戻ります。

■ 西暦で入力する場合：「5西暦で入力する」▶誕生日を入力▶決定を押す

お知らせ

- お客様のFOMA端末の電話番号（自局電話番号）はドコモUIMカードに登録されているため修正できません。それ以外の項目はFOMA端末に記録されます。
- 個人情報のメールアドレスを変更しても、ｉモードのメールアドレスは変更されません。また、ｉモードのメールアドレスを変更しても、個人情報のメールアドレスは自動的には変更されません。→p.152
- 個人情報（詳細）画面で電話帳を押しても個人情報の登録・修正ができます。また、個人情報（詳細）画面のサブメニューから個人情報を利用できます。
- 赤外線通信を利用して個人情報を赤外線通信機能が搭載されている携帯電話やパソコンなどに送信できます。→p.331